

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月30日

上場会社名 **株式会社角川グループホールディングス** 上場取引所 東証一部  
 コード番号 9477 URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 本間 明生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括マネジャー (氏名) 梶田 敏夫 TEL (03)3238-8710  
 (百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	113,164	△0.5	4,417	△39.9	5,078	△33.5	1,587	△62.2
19年3月期第3四半期	113,753	2.5	7,356	55.9	7,633	47.4	4,202	105.9
19年3月期	149,883		7,393		7,775		3,898	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	60	69	55	58
19年3月期第3四半期	167	82	152	98
19年3月期	154	13	140	64

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	145,152		85,326		57.6	3,218	48	
19年3月期第3四半期	145,738		85,307		57.5	3,220	79	
19年3月期	149,839		88,291		57.9	3,239	48	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	4,862		△14,058		△3,310		26,758	
19年3月期第3四半期	1,318		△1,415		1,730		31,275	
19年3月期	3,297		2,393		4,246		39,606	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年3月期第3四半期	—	—
20年3月期第3四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	153,000	2.1	7,600	2.8	7,900	1.6	4,000	2.6	149	00

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (税金費用の計算は簡便法による)

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「(4) その他」をご覧ください。

5. 平成20年3月期第3四半期の個別業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日) 【参考】

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	4,257	22.4	2,178	△6.9	2,448	△2.8	2,703	16.1
19年3月期第3四半期	3,479	21.3	2,341	49.5	2,517	18.9	2,328	33.3
19年3月期	4,053		2,258		2,681		5,022	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	103	32	94	63
19年3月期第3四半期	92	97	84	75
19年3月期	198	55	181	17

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	108,007	77,383	77,383	77,383	71.6	2,976	78	
19年3月期第3四半期	104,911	73,774	73,774	73,774	70.3	2,835	48	
19年3月期	107,897	78,975	78,975	78,975	73.2	2,950	33	

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当期間（平成19年4月～平成19年12月）における日本経済は、「一部に弱さがみられるものの回復」との基調判断の下、生産と設備投資は上方修正した反面、企業収益と雇用情勢は下方修正され、企業主導の回復はあるものの家計部門は弱く、「二極化」の様相が強まってきました。個人消費は「横ばい」となり、米国サブプライムローン問題や原油高もあいまって、景気回復については先行きの下振れリスクがあると警戒感が高まってきました（政府月例経済報告より）。

出版業界における当期間の出版物推定販売金額は、前年同期間に比べて、雑誌は10年連続前年割れの2.4%減、書籍3.4%減、全体で2.8%減と、ベストセラーが出なかった書籍が2年ぶりにマイナス成長に転じ、販売金額の低価格化とあいまって、全体として厳しい経営環境が続きました（社団法人出版科学研究所より）。

映画業界における当期間の映画興行収入概算額は、邦画は前年同期間の96.5%と不調でしたが、「スパイダーマン3」「パイレーツ・オブ・カリビアン ワールド・エンド」等洋画大作が牽引役（前年同期間比100.3%）となり、全体では前年同期間の98.6%となりました（社団法人日本映画製作者連盟より）。

映像ソフト業界における当期間のDVDソフト出荷額は、前年同期間に超強力作品が揃っていたため、前年同期間の95.4%となりました（社団法人日本映像ソフト協会より）。

このような環境のもと、当社グループは、出版事業、映像事業に、ブロードバンド時代に対応するクロスメディア事業を加えた「総合メディア企業」を標榜し、グループ会社それぞれが、収益性の高い「オンリーワン企業」となることを目指しています。また、ビジネスドメインごとに事業構造改革を推進し、各事業会社の企業価値の向上を実現させるために、経営体制を強化しています。

出版事業セグメントは、引き続き書籍（一般書及びコミックス）部門が好調を維持しています。映像事業セグメントは、企画・制作、配給、興行、DVD等パッケージ販売、テレビ等への権利販売と、事業が垂直的に展開するなかで、統合によるスケールメリットとシナジー効果の最大化を図っています。クロスメディア事業セグメントは、紙媒体とインターネットを組み合わせることで情報発信力を強化することを目指しています。

この結果、当期間の連結業績は、売上高1,131億64百万円（前年同期間比99.5%）、営業利益44億17百万円（前年同期間比60.1%）、経常利益50億78百万円（前年同期間比66.5%）、当期純利益15億87百万円（前年同期間比37.8%）となりました。

各事業セグメントの概況は次のとおりです。

出版事業セグメントは、売上高533億49百万円（前年同期間比100.1%）、セグメント営業利益35億45百万円（前年同期間比60.9%）となりました。

<書籍部門>

編集企画力及びマーケティング力の強化策が奏功するとともに、当社グループの特性であるメディアミックス作品が映像、ゲームと連動する形となり、数多くの話題作、ヒット作を生み出しています。

単行本は、「夜明けの街で」（角川書店 東野圭吾著）、全世界で860万部を記録したベストセラー「ザ・シークレット」（角川書店 ロンダ・バーン著）、人気シリーズ「図書館革命」（メディアワークス 有川浩著）がヒット作品となりました。他には映画化された「クロード・ノート」（角川書店 雫井脩介著）、第20回山本周五郎賞を受賞した「夜は短し歩けよ乙女」（角川書店 森見登美彦著）等が、ロングセラーを記録しました。ゲーム攻略本では、「モンスターハンターポータブル2nd ザ・マスターガイド」（メディアワークス）が完売するなど、ゲーム業界の盛況を反映し、数多くのヒット作品がありました。実用書では、英会話学習書で2年連続販売数1位となり、累計50万部を突破した「英語耳」シリーズ（アスキー）、認知度を高めた「角川Oneテーマ21」（角川書店）、アスキー創立30周年企画「アスキー新書」（アスキー）、角川グループ3つめの実用新書シリーズ「角川SSC新書」（角川SSCコミュニケーションズ）も好評を博しました。学術・芸術分野では、「釣り人のための遊遊さかな大図鑑―釣魚写真大全」（エンターブレイン 小西英人著）の刊行が話題を呼んだほか、角川選書「色男の研究」（角川学芸出版 ヨコタ村上孝之著）が第29回サントリー学芸賞に選定されました。

文庫は、映画「バッテリー」に連動して「バッテリー（6）」（角川書店 あさのあつこ著）が60万部超の大ヒットを記録しました。他には「グラスホッパー」（角川書店 伊坂幸太郎著）、映画化された「サウスバウンド 上・下」（角川書店 奥田英朗著）、「約束」（角川書店 石田衣良著）等が、売上を伸ばしました。また、ライトノベルズでは、社会現象となった「涼宮ハルヒ」シリーズ（角川書店 谷川流著）をはじめ、「灼眼のシャナ」シリーズ（メディアワークス 高橋弥七郎著）「とある魔術の禁書目録」シリーズ（メディアワークス 鎌池和馬著）「キノ」シリーズ（メディアワークス 時雨沢恵一著）「少年陰陽師」シリーズ（角川書店 結城光流著）等が、メディアミックス効果により好成績を記録しました。また、新たな試みとして、ケータイ小説分野で「魔法のいらんど文庫」を創刊しました。

コミックスは、人気シリーズとして多くのファンに支持されている「新世紀エヴァンゲリオン（11）」（角川書店 貞本義行著）「よつぱと！（7）」（メディアワークス あずまきよひこ著）「真月譚 月姫（5）」（メディア

ワークス 佐々木少年著）「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN（15）（16）」（角川書店 安彦良和著）等が、ヒット作品となりました。また、映画化された「ケロロ軍曹」（角川書店 吉崎観音著）「灼眼のシャナ」（メディアワークス 笹倉綾人画）をはじめ、TVドラマ化された「山田太郎ものがたり」（角川書店 森永あい著）、当期間150万部を突破し、小説の舞台となった「鷲宮神社ブーム」を巻き起こした「らき☆すた」（角川書店 美水かがみ著）、「コードギアス 反逆のルルーシュ」（角川書店 マジコ！著）等、テレビアニメシリーズを中心としてメディアミックス展開が引き続き好調で、関連出版物・グッズ等への商品展開を拡げています。また、当期間より青年誌「コミックチャージ」作品のコミック化が始まりました。

<雑誌・広告部門>

ここ数年来、雑誌ビジネスは厳しい環境が続いていますが、アニメ情報誌「ニュータイプ」（角川書店）、ゲーム情報誌「週刊ファミ通」（エンターブレイン）「電撃PlayStation」（メディアワークス）、パソコン情報誌「週刊アスキー」（アスキー）、20周年を迎えた生活情報誌「レタスクラブ」（角川SSコミュニケーションズ）、競馬情報誌「サラブレ」（エンターブレイン）等、それぞれの分野のNo.1誌が確固たるブランド力を背景に、堅調に推移しました。

映像事業セグメントは、売上高319億94百万円（前年同期比99.8%）、セグメント営業損失1億93百万円（前年同期間は利益10億90百万円）となりました。

劇場映画は、興行収入15億を記録した「バッテリー」、「超劇場版ケロロ軍曹2 深海のプリンセスであります！」「ミス・ポター」（ともに角川映画）、ドリームワークス作品「シュレック3」がヒット作になりました。他では、話題作「初雪の恋～ヴァージン・スノー」「鳳凰 わが愛」「転校生ーさよならあなたー」「サウスパウンド」「あかね空」「プロヴァンスの贈りもの」「インランド・エンパイア」「ディスタービア」「ナンバー23」（いずれも角川映画）を公開し、新たな試みとして電撃文庫の人気3作品をアニメ化した「電撃文庫ムービーフェスティバル」を開催し、話題を集めました。

DVD販売は、第30回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞をはじめ各映画賞に輝く「時をかける少女」（販売角川エンタテインメント）が大ヒットを記録した他、角川映画30周年記念作品「犬神家の一族」「バッテリー」（ともに販売角川映画）、ドリームワークス作品「シュレック3」「シュレック1&2パック」、人気テレビシリーズ「帰ってきた時効警察」「のだめカンタービレ」「木更津キャッツアイ ワールド・シリーズ」「らき☆すた」（いずれも販売角川エンタテインメント）「しゃべれどもしゃべれども」「さくらん」（販売角川エンタテインメント）「CSI：科学捜査班5」「王の男」（ともに販売角川映画）等が、ヒット作品となりました。

また、前期に公開した「CSIシリーズ」（角川映画）等の豊富なライブラリーが、テレビセールス及び権利ビジネスにおいても、着実に売上を伸ばしました。

クロスメディア事業セグメントは、売上高219億94百万円（前年同期比94.2%）、セグメント営業利益13億33百万円（前年同期比134.1%）となりました。

テレビ情報誌「月刊ザテレビジョン」は9月より10版体制となり売上を伸ばしました。また、25周年を迎えた「週刊ザテレビジョン」、「月刊ザハイビジョン」（いずれも角川ザテレビジョン）から展開する「webザテレビジョン」、都市情報誌「Walker」「大人のウォーカー」シリーズ（ともに角川クロスメディア）からの「街角ウォーカー」等、紙媒体以外の複数メディアへの情報展開により、読者・ユーザーへのリーチ力・リコメンド力を高め、収益の拡大を目指しています。当期間は年末年始の定番となった「週刊ザテレビジョンお正月超特大号」を中心に、「東大阪八尾ウォーカー」「川崎市ウォーカー」等の地域密着型ムック展開も堅調に推移しました。

コンテンツ配信ビジネスは、「動く！！写真集」（角川ザテレビジョン）が好調に推移し、「モバイルウォーカー」（角川クロスメディア）「モバイルファミ通」「MelodyClip♪」「ダービースタリオンfor DoCoMo」（いずれもエンターブレイン）等が、順調に売上を伸ばしたほか、ケータイ向け動画配信サイト「iムービーゲート」（角川モバイル）、「ファミ通ゲームチャンネル」（エンターブレイン）などを新たにオープンしました。

その他事業セグメントは、売上高58億25百万円（前年同期比115.4%）、セグメント営業利益5億21百万円（前年同期比224.5%）となりました。

ゲームソフト「PS2 Fate/stay night」（角川書店）が累計出荷22万本超の大ヒット作品となったほか、「ニンテンドーDS 真・らき☆すた 萌えドリル～旅立ち」（角川書店）「PS2 ななついろ★ドロップス pure!!!」（メディアワークス）が売上を伸ばしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、期首に比べて46億86百万円減少し、1,451億52百万円となりました。資金運用の結果、投資有価証券及び長期預金がそれぞれ増加しましたが、一方、自己株式の取得及び資金運用により現金及び預金が減少しました。

負債は、期首に比べて17億20百万円減少し、598億26百万円となりました。保有株式の時価総額減少により繰延税金負債が減少しました。

純資産は、期首に比べて29億65百万円減少し、853億26百万円となりました。自己株式の取得により株主資本が減少し、また、保有株式の時価総額減少によりその他有価証券評価差額金が減少しました。

自己資本比率は、期首に比べて0.3ポイント下がり、57.6%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益は減少したものの、利息及び配当金の受取額が増加し、また、法人税等支払額が減少したこと等により、48億62百万円の収入（前年同期間は13億18百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、資金運用を目的とした投資有価証券の取得及び定期預金の預入等により、140億58百万円の支出（前年同期間は14億15百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び配当金の支払等により、33億10百万円の支出（前年同期間は17億30百万円の収入）となりました。

為替換算差額を含めて合計128億47百万円の支出となり、現金及び現金同等物期末残高は、267億58百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想は、期初策定値のとおり、売上高1,530億円、営業利益76億円、経常利益79億円、当期純利益40億円の達成を目指してまいります。

第4四半期も、グループをあげて、出版事業、映像事業、クロスメディア事業の各分野で事業展開力の拡充を図り、優良コンテンツの創出と販売に邁進するとともに、事業構造改革の推進を継続し、より一層の収益力向上に努めてまいります。

出版事業において、映画「ケロロ軍曹」第3作に連動したメディアミックス販売、平成20年に文庫創刊60周年を迎える角川文庫の「愛の一冊フェア」等を、映像事業において、人気アニメDVDシリーズ「らき☆すた」の続刊、映画「ケロロ軍曹」第3作の公開等を、第4四半期における主要商品・企画として予定しており、これ以外の商品・企画についても、幅広く収益獲得の努力を進めてまいります。

(4) その他

① 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

② 会計処理の方法における簡便な方法の採用

前第3四半期及び当第3四半期の税金費用の計算は、簡便法による税効果会計を適用しており、連結損益計算書及び損益計算書における「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

③ 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

6. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、％）

科目	前第3四半期 （平成18年12月31日）	当第3四半期 （平成19年12月31日）	増 減		前連結会計年度 （平成19年3月31日）
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>（資産の部）</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	25,799	25,892	93		36,230
2. 受取手形及び売掛金	35,635	37,030	1,395		36,118
3. 有価証券	3,496	998	△2,497		1,996
4. たな卸資産	10,354	9,600	△754		10,225
5. 繰延税金資産	2,013	2,028	15		2,117
6. その他	6,971	4,079	△2,892		4,880
7. 貸倒引当金	△98	△83	15		△103
<b>流動資産合計</b>	<b>84,172</b>	<b>79,546</b>	<b>△4,625</b>	<b>△5.5</b>	<b>91,464</b>
<b>II 固定資産</b>					
<b>（1）有形固定資産</b>					
1. 建物及び構築物	11,831	12,052	220		12,073
2. 工具器具及び備品	1,726	1,711	△14		1,681
3. 土地	10,852	10,910	58		10,852
4. その他	271	383	112		373
<b>有形固定資産合計</b>	<b>24,681</b>	<b>25,058</b>	<b>376</b>	<b>1.5</b>	<b>24,981</b>
<b>（2）無形固定資産</b>					
1. のれん	6,769	4,194	△2,574		6,101
2. その他	1,714	1,992	277		1,926
<b>無形固定資産合計</b>	<b>8,484</b>	<b>6,186</b>	<b>△2,297</b>	<b>△27.1</b>	<b>8,028</b>
<b>（3）投資その他の資産</b>					
1. 投資有価証券	19,819	22,307	2,487		17,341
2. 繰延税金資産	931	863	△67		906
3. その他	7,913	11,570	3,657		7,468
4. 貸倒引当金	△263	△379	△116		△352
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>28,401</b>	<b>34,361</b>	<b>5,960</b>	<b>21.0</b>	<b>25,364</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>61,566</b>	<b>65,606</b>	<b>4,040</b>	<b>6.6</b>	<b>58,374</b>
<b>資産合計</b>	<b>145,738</b>	<b>145,152</b>	<b>△585</b>	<b>△0.4</b>	<b>149,839</b>

(単位：百万円、%)

科目	前第3四半期 (平成18年12月31日)	当第3四半期 (平成19年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 支払手形及び買掛金	21,285	22,055	770		21,980
2. 短期借入金	4,664	4,383	△280		4,584
3. 未払法人税等	2,078	2,372	294		1,746
4. 賞与引当金	395	473	77		1,097
5. 返品調整引当金	3,030	3,235	205		3,192
6. その他	11,113	10,345	△767		11,231
<b>流動負債合計</b>	<b>42,567</b>	<b>42,867</b>	<b>299</b>	<b>0.7</b>	<b>43,832</b>
<b>II 固定負債</b>					
1. 社債	11,400	11,400	—		11,400
2. 長期借入金	1,576	1,457	△119		1,510
3. 繰延税金負債	2,665	1,758	△906		2,509
4. 退職給付引当金	1,583	1,742	159		1,660
5. その他	637	599	△37		633
<b>固定負債合計</b>	<b>17,863</b>	<b>16,958</b>	<b>△904</b>	<b>△5.1</b>	<b>17,714</b>
<b>負債合計</b>	<b>60,431</b>	<b>59,826</b>	<b>△605</b>	<b>△1.0</b>	<b>61,547</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1. 資本金	26,330	26,330	—		26,330
2. 資本剰余金	27,919	27,705	△214		27,747
3. 利益剰余金	31,746	32,199	453		31,441
4. 自己株式	△4,708	△4,206	501		△1,869
<b>株主資本合計</b>	<b>81,287</b>	<b>82,028</b>	<b>740</b>	<b>0.9</b>	<b>83,649</b>
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1. その他有価証券評価差額金	2,245	1,662	△583		2,732
2. 土地再評価差額金	△586	△586	—		△586
3. 為替換算調整勘定	850	561	△289		918
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>2,510</b>	<b>1,638</b>	<b>△872</b>	<b>△34.8</b>	<b>3,065</b>
<b>III 少数株主持分</b>	<b>1,509</b>	<b>1,660</b>	<b>150</b>	<b>10.0</b>	<b>1,576</b>
<b>純資産合計</b>	<b>85,307</b>	<b>85,326</b>	<b>19</b>	<b>0.0</b>	<b>88,291</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>145,738</b>	<b>145,152</b>	<b>△585</b>	<b>△0.4</b>	<b>149,839</b>

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	<b>113,753</b>	<b>113,164</b>	<b>△588</b>	<b>△0.5</b>	<b>149,883</b>
<b>II 売上原価</b>	<b>84,367</b>	<b>84,840</b>	<b>472</b>	<b>0.6</b>	<b>111,869</b>
売上総利益	29,385	28,324	△1,061	△3.6	38,014
返品調整引当金戻入額	3,220	3,181	△38		3,220
返品調整引当金繰入額	3,030	3,227	196		3,182
差引売上総利益	29,575	28,278	△1,296	△4.4	38,052
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	<b>22,219</b>	<b>23,861</b>	<b>1,641</b>	<b>7.4</b>	<b>30,658</b>
<b>営業利益</b>	<b>7,356</b>	<b>4,417</b>	<b>△2,938</b>	<b>△39.9</b>	<b>7,393</b>
<b>IV 営業外収益</b>					
1. 受取利息	70	422	352		135
2. 受取配当金	110	213	102		110
3. 投資事業組合等運用益	101	—	△101		344
4. 受取保険金	19	25	6		23
5. 古紙売却益	101	143	42		140
6. その他	49	67	17		61
<b>営業外収益合計</b>	<b>452</b>	<b>872</b>	<b>420</b>	<b>93.0</b>	<b>816</b>
<b>V 営業外費用</b>					
1. 支払利息	98	82	△15		132
2. 持分法による投資損失	42	109	67		268
3. その他	33	19	△14		33
<b>営業外費用合計</b>	<b>174</b>	<b>211</b>	<b>36</b>	<b>21.2</b>	<b>434</b>
<b>経常利益</b>	<b>7,633</b>	<b>5,078</b>	<b>△2,554</b>	<b>△33.5</b>	<b>7,775</b>
<b>VI 特別利益</b>					
1. 固定資産売却益	0	3	3		0
2. 投資有価証券売却益	363	228	△134		440
3. 連結子会社持分変動益	785	108	△677		785
4. 関連会社株式売却益	0	132	131		168
5. 会員権売却益	—	—	—		0
6. 貸倒引当金戻入額	32	—	△32		—
7. 収益受益権債権信託精算益	285	28	△256		285
8. 訴訟利益	—	87	87		—
<b>特別利益合計</b>	<b>1,467</b>	<b>588</b>	<b>△878</b>	<b>△59.9</b>	<b>1,680</b>
<b>VII 特別損失</b>					
1. 固定資産売却損	0	0	△0		0
2. 固定資産除却損	29	34	4		42
3. 投資有価証券売却損	0	4	3		0
4. 投資有価証券評価損	47	466	418		47
5. 減損損失	53	—	△53		84
<b>特別損失合計</b>	<b>131</b>	<b>505</b>	<b>373</b>	<b>284.6</b>	<b>176</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>8,969</b>	<b>5,162</b>	<b>△3,807</b>	<b>△42.4</b>	<b>9,279</b>
法人税、住民税及び事業税	4,630	3,405	△1,225	△26.5	4,908
法人税等調整額	—	—	—	—	275
少数株主利益	136	168	32	23.9	196
<b>当期純利益</b>	<b>4,202</b>	<b>1,587</b>	<b>△2,614</b>	<b>△62.2</b>	<b>3,898</b>

注) 前第3四半期及び当第3四半期の税金費用の計算は簡便法による税効果会計を適用しており、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。



（3）四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
<b>平成18年3月31日残高</b>	<b>24,330</b>	<b>26,003</b>	<b>28,291</b>	<b>△4,877</b>	<b>73,748</b>
四半期中の変動額					
新株の発行	2,000	2,000			4,000
剰余金の配当			△748		△748
当期純利益			4,202		4,202
自己株式の取得				△6	△6
自己株式の処分		△84		175	90
株主資本以外の項目の変動額（純額）					
四半期中の変動額合計	2,000	1,916	3,454	168	7,539
<b>平成18年12月31日残高</b>	<b>26,330</b>	<b>27,919</b>	<b>31,746</b>	<b>△4,708</b>	<b>81,287</b>

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
<b>平成18年3月31日残高</b>	<b>4,616</b>	<b>△586</b>	<b>873</b>	<b>4,904</b>	<b>1,680</b>	<b>80,332</b>
四半期中の変動額						
新株の発行						4,000
剰余金の配当						△748
当期純利益						4,202
自己株式の取得						△6
自己株式の処分						90
株主資本以外の項目の変動額（純額）	△2,370	—	△22	△2,393	△171	△2,564
四半期中の変動額合計	△2,370	—	△22	△2,393	△171	4,974
<b>平成18年12月31日残高</b>	<b>2,245</b>	<b>△586</b>	<b>850</b>	<b>2,510</b>	<b>1,509</b>	<b>85,307</b>

当第3四半期（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>26,330</b>	<b>27,747</b>	<b>31,441</b>	<b>△1,869</b>	<b>83,649</b>
四半期中の変動額					
剰余金の配当			△829		△829
当期純利益			1,587		1,587
自己株式の取得				△2,435	△2,435
自己株式の処分		△42		98	56
株主資本以外の項目の変動額（純額）					
四半期中の変動額合計	—	△42	758	△2,337	△1,621
<b>平成19年12月31日残高</b>	<b>26,330</b>	<b>27,705</b>	<b>32,199</b>	<b>△4,206</b>	<b>82,028</b>

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>2,732</b>	<b>△586</b>	<b>918</b>	<b>3,065</b>	<b>1,576</b>	<b>88,291</b>
四半期中の変動額						
剰余金の配当						△829
当期純利益						1,587
自己株式の取得						△2,435
自己株式の処分						56
株主資本以外の項目の変動額（純額）	△1,069	—	△357	△1,427	83	△1,343
四半期中の変動額合計	△1,069	—	△357	△1,427	83	△2,965
<b>平成19年12月31日残高</b>	<b>1,662</b>	<b>△586</b>	<b>561</b>	<b>1,638</b>	<b>1,660</b>	<b>85,326</b>

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
<b>平成18年3月31日残高</b>	<b>24,330</b>	<b>26,003</b>	<b>28,291</b>	<b>△4,877</b>	<b>73,748</b>
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	2,000	2,000			4,000
剰余金の配当			△748		△748
当期純利益			3,898		3,898
自己株式の取得				△1,579	△1,579
自己株式の処分		△256		4,587	4,330
株主資本以外の項目の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	2,000	1,743	3,150	3,007	9,901
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>26,330</b>	<b>27,747</b>	<b>31,441</b>	<b>△1,869</b>	<b>83,649</b>

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
<b>平成18年3月31日残高</b>	<b>4,616</b>	<b>△586</b>	<b>873</b>	<b>4,904</b>	<b>1,680</b>	<b>80,332</b>
連結会計年度中の変動額						
新株の発行						4,000
剰余金の配当						△748
当期純利益						3,898
自己株式の取得						△1,579
自己株式の処分						4,330
株主資本以外の項目の変動額（純額）	△1,884	—	45	△1,838	△103	△1,942
連結会計年度中の変動額合計	△1,884	—	45	△1,838	△103	7,959
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>2,732</b>	<b>△586</b>	<b>918</b>	<b>3,065</b>	<b>1,576</b>	<b>88,291</b>

（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益	8,969	5,162	9,279
減価償却費	1,503	1,627	2,091
のれん償却額	1,967	1,915	2,634
退職給付引当金の増減額	△30	81	46
受取利息及び受取配当金	△180	△636	△246
支払利息	98	82	132
持分法による投資損益	42	109	268
投資有価証券評価損	47	466	47
売上債権の増減額	△1,345	△1,055	△1,776
たな卸資産の増減額	350	598	508
仕入債務の増減額	△3,777	469	△3,046
その他	△1,960	△1,594	△1,469
小計	5,684	7,227	8,469
利息及び配当金の受取額	200	601	270
利息の支払額	△102	△95	△123
法人税等の支払額	△4,464	△2,871	△5,319
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,318</b>	<b>4,862</b>	<b>3,297</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の純増減額	108	△3,614	110
有価証券の取得による支出	—	△994	—
有形固定資産の取得による支出	△2,100	△1,299	△3,404
無形固定資産の取得による支出	△474	△703	△726
投資有価証券の取得による支出	△135	△7,619	△4,570
投資有価証券の売却等による収入	1,048	460	8,268
保険積立金解約による収入	154	33	412
その他	△16	△321	2,304
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,415</b>	<b>△14,058</b>	<b>2,393</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額	△1,480	—	△1,482
株式の発行による収入	3,982	—	3,982
自己株式の取得による支出	△6	△2,435	△1,579
自己株式の売却による収入	90	56	4,330
配当金の支払額	△748	△829	△748
その他	△108	△101	△255
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,730</b>	<b>△3,310</b>	<b>4,246</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△10</b>	<b>△340</b>	<b>14</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>1,622</b>	<b>△12,847</b>	<b>9,953</b>
<b>VI 現金及び現金同等物期首残高</b>	<b>29,652</b>	<b>39,606</b>	<b>29,652</b>
<b>VII 現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>31,275</b>	<b>26,758</b>	<b>39,606</b>

（5）セグメント情報

①前第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	出版事業	映像事業	クロス メディア 事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	53,299	32,060	23,343	5,048	113,753	—	113,753
(2)セグメント間の内部売上高	897	134	654	1,801	3,488	(3,488)	—
計	54,197	32,195	23,998	6,850	117,241	(3,488)	113,753
営業費用	48,376	31,104	23,004	6,617	109,103	(2,706)	106,397
営業利益	5,820	1,090	993	232	8,138	(781)	7,356

②当第3四半期（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	出版事業	映像事業	クロス メディア 事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	53,349	31,994	21,994	5,825	113,164	—	113,164
(2)セグメント間の内部売上高	707	221	775	2,040	3,745	(3,745)	—
計	54,057	32,216	22,769	7,866	116,909	(3,745)	113,164
営業費用	50,511	32,410	21,436	7,344	111,703	(2,956)	108,746
営業利益又は営業損失（△）	3,545	△193	1,333	521	5,206	(789)	4,417

③前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	出版事業	映像事業	クロス メディア 事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	70,942	41,657	30,612	6,669	149,883	—	149,883
(2)セグメント間の内部売上高	1,189	248	948	2,531	4,917	(4,917)	—
計	72,132	41,906	31,561	9,200	154,800	(4,917)	149,883
営業費用	65,145	41,739	30,087	9,223	146,195	(3,706)	142,489
営業利益又は営業損失（△）	6,987	166	1,474	△22	8,604	(1,211)	7,393

注）各区分に属する主要な製品及び役務

- (1) 出版事業…書籍、ストーリー系雑誌、生活系雑誌、物流等
- (2) 映像事業…映画、DVDソフト等
- (3) クロスメディア事業…情報系雑誌、ウェブサイト、デジタルコンテンツ制作等
- (4) その他事業…ゲームソフト、広告代理店、不動産賃貸等

7. 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前第3四半期 (平成18年12月31日)	当第3四半期 (平成19年12月31日)	増 減		前 期 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	6,327	9,702	3,374		18,201
2. 売掛金	278	242	△35		196
3. 有価証券	3,496	998	△2,497		1,996
4. たな卸資産	—	1	1		1
5. 短期貸付金	13,572	9,876	△3,695		8,958
6. その他	2,718	1,558	△1,160		1,774
<b>流動資産合計</b>	<b>26,394</b>	<b>22,380</b>	<b>△4,013</b>	<b>△15.2</b>	<b>31,128</b>
<b>II 固定資産</b>					
(1) 有形固定資産					
1. 建物	2,784	2,659	△125		2,762
2. 土地	5,243	5,301	58		5,243
3. その他	678	836	158		771
<b>有形固定資産合計</b>	<b>8,706</b>	<b>8,797</b>	<b>91</b>	<b>1.1</b>	<b>8,777</b>
(2) 無形固定資産	<b>395</b>	<b>672</b>	<b>276</b>	<b>69.9</b>	<b>569</b>
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	64,522	67,563	3,041		61,885
2. 長期預金	—	3,500	3,500		—
3. 保険積立金	2,281	3,174	893		3,069
4. その他	2,738	2,048	△689		2,598
5. 貸倒引当金	△126	△130	△3		△130
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>69,415</b>	<b>76,156</b>	<b>6,741</b>	<b>9.7</b>	<b>67,423</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>78,517</b>	<b>85,627</b>	<b>7,109</b>	<b>9.1</b>	<b>76,769</b>
<b>資産合計</b>	<b>104,911</b>	<b>108,007</b>	<b>3,095</b>	<b>3.0</b>	<b>107,897</b>

(単位：百万円、%)

科目	前第3四半期 (平成18年12月31日)	当第3四半期 (平成19年12月31日)	増 減		前 期 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 短期借入金	4,021	4,021	—		4,021
2. 未払法人税等	86	41	△45		138
3. 預り金	13,178	13,549	371		10,859
4. 賞与引当金	—	9	9		29
5. その他	213	174	△39		300
<b>流動負債合計</b>	<b>17,499</b>	<b>17,795</b>	<b>296</b>	<b>1.7</b>	<b>15,348</b>
<b>II 固定負債</b>					
1. 社債	11,400	11,400	—		11,400
2. 繰延税金負債	1,955	1,064	△891		1,809
3. 退職給付引当金	—	59	59		54
4. その他	282	304	21		309
<b>固定負債合計</b>	<b>13,638</b>	<b>12,828</b>	<b>△810</b>	<b>△5.9</b>	<b>13,573</b>
<b>負債合計</b>	<b>31,137</b>	<b>30,623</b>	<b>△514</b>	<b>△1.7</b>	<b>28,922</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
(1) 資本金	26,330	26,330	—		26,330
(2) 資本剰余金					
1. 資本準備金	27,375	27,375	—		27,375
<b>資本剰余金合計</b>	<b>27,375</b>	<b>27,375</b>	<b>—</b>		<b>27,375</b>
(3) 利益剰余金					
1. 利益準備金	567	567	—		567
2. その他利益剰余金	22,464	26,815	4,351		24,984
<b>利益剰余金合計</b>	<b>23,031</b>	<b>27,382</b>	<b>4,351</b>		<b>25,551</b>
(4) 自己株式	△4,710	△4,207	503		△1,870
<b>株主資本合計</b>	<b>72,026</b>	<b>76,880</b>	<b>4,854</b>	<b>6.7</b>	<b>77,386</b>
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1. その他有価証券評価差額金	2,850	1,605	△1,244		2,691
2. 土地再評価差額金	△1,102	△1,102	—		△1,102
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,748</b>	<b>503</b>	<b>△1,244</b>	<b>△71.2</b>	<b>1,589</b>
<b>純資産合計</b>	<b>73,774</b>	<b>77,383</b>	<b>3,609</b>	<b>4.9</b>	<b>78,975</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>104,911</b>	<b>108,007</b>	<b>3,095</b>	<b>3.0</b>	<b>107,897</b>

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増 減		前 期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 営業収益</b>	<b>3,479</b>	<b>4,257</b>	<b>778</b>	<b>22.4</b>	<b>4,053</b>
<b>II 営業費用</b>					
賃貸原価	295	434	139		458
販売費及び一般管理費	843	1,644	801		1,336
<b>営業費用合計</b>	<b>1,138</b>	<b>2,078</b>	<b>940</b>	<b>82.7</b>	<b>1,794</b>
<b>営業利益</b>	<b>2,341</b>	<b>2,178</b>	<b>△162</b>	<b>△6.9</b>	<b>2,258</b>
<b>III 営業外収益</b>	<b>220</b>	<b>317</b>	<b>96</b>	<b>43.6</b>	<b>478</b>
<b>IV 営業外費用</b>	<b>44</b>	<b>47</b>	<b>3</b>	<b>7.6</b>	<b>55</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,517</b>	<b>2,448</b>	<b>△69</b>	<b>△2.8</b>	<b>2,681</b>
<b>V 特別利益</b>	<b>363</b>	<b>282</b>	<b>△81</b>	<b>△22.3</b>	<b>2,847</b>
<b>VI 特別損失</b>	<b>483</b>	<b>17</b>	<b>△465</b>	<b>△96.4</b>	<b>223</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>2,398</b>	<b>2,713</b>	<b>314</b>	<b>13.1</b>	<b>5,306</b>
法人税、住民税及び 事業税	70	10	△60	△85.7	250
法人税等調整額	—	—	—	—	33
<b>当期純利益</b>	<b>2,328</b>	<b>2,703</b>	<b>374</b>	<b>16.1</b>	<b>5,022</b>

注) 前第3四半期及び当第3四半期の税金費用の計算は簡便法による税効果会計を適用しており、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。



(3) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
平成18年3月31日残高	24,330	25,374	567	20,968	21,535	△4,879	66,361
四半期中の変動額							
新株の発行	2,000	2,000					4,000
剰余金の配当				△748	△748		△748
当期純利益				2,328	2,328		2,328
自己株式の取得						△6	△6
自己株式の処分				△84	△84	175	90
株主資本以外の項目の変動額 (純額)							
四半期中の変動額合計	2,000	2,000	—	1,495	1,495	168	5,664
平成18年12月31日残高	26,330	27,375	567	22,464	23,031	△4,710	72,026

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	5,345	△1,102	4,242	70,604
四半期中の変動額				
新株の発行				4,000
剰余金の配当				△748
当期純利益				2,328
自己株式の取得				△6
自己株式の処分				90
株主資本以外の項目の変動額 (純額)	△2,494	—	△2,494	△2,494
四半期中の変動額合計	△2,494	—	△2,494	3,170
平成18年12月31日残高	2,850	△1,102	1,748	73,774

当第3四半期（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年3月31日残高	26,330	27,375	567	24,984	25,551	△1,870	77,386
四半期中の変動額							
剰余金の配当				△829	△829		△829
当期純利益				2,703	2,703		2,703
自己株式の取得						△2,435	△2,435
自己株式の処分				△42	△42	98	56
株主資本以外の項目の変動額（純額）							
四半期中の変動額合計	—	—	—	1,831	1,831	△2,337	△505
平成19年12月31日残高	26,330	27,375	567	26,815	27,382	△4,207	76,880

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	2,691	△1,102	1,589	78,975
四半期中の変動額				
剰余金の配当				△829
当期純利益				2,703
自己株式の取得				△2,435
自己株式の処分				56
株主資本以外の項目の変動額（純額）	△1,085	—	△1,085	△1,085
四半期中の変動額合計	△1,085	—	△1,085	△1,591
平成19年12月31日残高	1,605	△1,102	503	77,383

前期（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
<b>平成18年3月31日残高</b>	<b>24,330</b>	<b>25,374</b>	<b>567</b>	<b>20,968</b>	<b>21,535</b>	<b>△4,879</b>	<b>66,361</b>
期中変動額							
新株の発行	2,000	2,000					4,000
剰余金の配当				△748	△748		△748
当期純利益				5,022	5,022		5,022
自己株式の取得						△1,579	△1,579
自己株式の処分				△258	△258	4,588	4,330
株主資本以外の項目の変動額（純額）							
期中変動額合計	2,000	2,000	—	4,015	4,015	3,009	11,025
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>26,330</b>	<b>27,375</b>	<b>567</b>	<b>24,984</b>	<b>25,551</b>	<b>△1,870</b>	<b>77,386</b>

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
<b>平成18年3月31日残高</b>	<b>5,345</b>	<b>△1,102</b>	<b>4,242</b>	<b>70,604</b>
期中変動額				
新株の発行				4,000
剰余金の配当				△748
当期純利益				5,022
自己株式の取得				△1,579
自己株式の処分				4,330
株主資本以外の項目の変動額（純額）	△2,653	—	△2,653	△2,653
期中変動額合計	△2,653	—	△2,653	8,371
<b>平成19年3月31日残高</b>	<b>2,691</b>	<b>△1,102</b>	<b>1,589</b>	<b>78,975</b>